

会社概要

商号 株式会社パシフィックネット
 所在地 〒108-0014 東京都港区芝五丁目20番14号 三田鈴木ビル6F
 TEL: 03-5730-1441 (代)
 FAX: 03-5730-1444
 設立 1988年7月8日
 資本金 43,275万円
 従業員数 254名
※うち100名は臨時従業員の年間平均雇用人員であります。

役員 (2016年8月30日現在)

代表取締役 上田 満弘 取締役 老川 賢
 常務取締役 菅谷 泰久 社外取締役 神谷宗之介*
 取締役 杉 研也 監査役(常勤) 長谷川輝夫*
 取締役 金田 智行 社外監査役 肥沼 晃*
 取締役 大江 正巳 社外監査役 有川 弘*

※印の取締役は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であり、また、
 ※印の監査役は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式の状況

発行可能株式総数 20,700,000株
 発行済株式の総数 5,174,889株 (自己株式111株を除く)
 1単元の株式数 100株
 株主数 2,357名

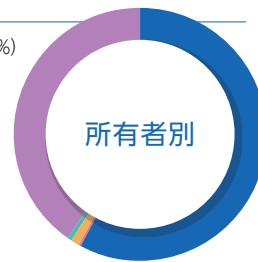
大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社リッチモンド	1,760,000	34.0
上田 満弘	812,200	15.6
上田 トモ子	300,000	5.7
上田 雄太	300,000	5.7
上田 修平	300,000	5.7
株式会社光通信	266,200	5.1
尾湯 要児	53,900	1.0
石川 宏	33,900	0.6
時田 一弘	30,100	0.5
岩間 正俊	30,000	0.5

株式分布状況

所有者	株式数(株)	所有株式比率(%)
個人・その他	2,997,827	57.9
金融機関	19,200	0.4
証券会社	55,203	1.1
外国法人等	26,170	0.5
その他	2,076,600	40.1

※自己株式111株は「個人・その他」に含まれております。



株主メモ

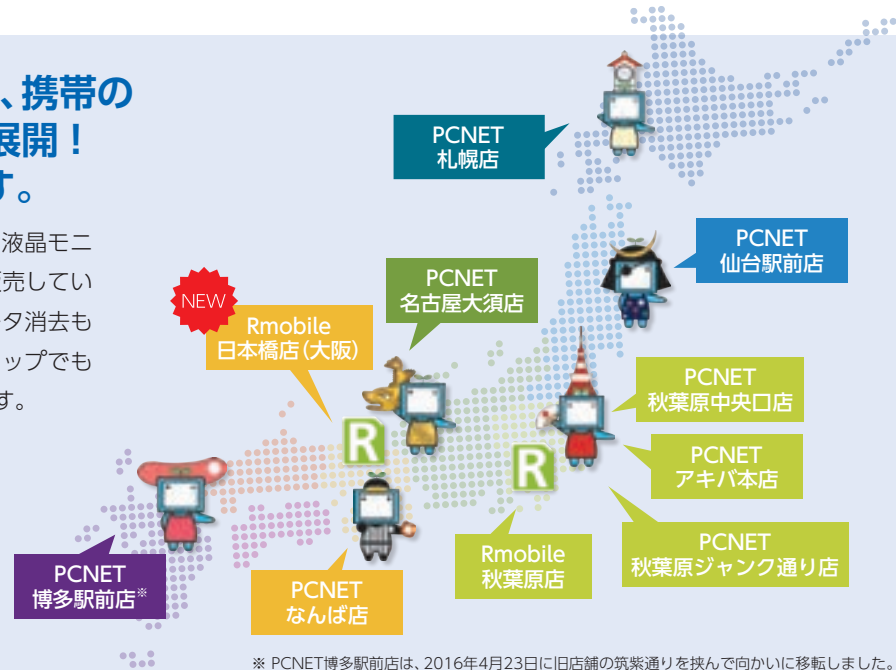
事業年度 6月1日から5月31日
 定時株主総会 8月下旬
 基準日 5月31日
(その他必要と認めるときは、公告のうえ設定)
 株主名簿管理人 株式会社みずほ信託銀行株式会社
 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
 東京証券取引所
 上場証券取引所 電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 公告掲載URL <http://www.prins.co.jp/>

お得なリユース品を激安販売!

リユースPC、タブレット、スマホ、携帯の販売・買取専門店を全国10店舗展開！オンラインショップも大好評です。

リユースパソコンやタブレット、スマホ、携帯電話、液晶モニターなどを、徹底した品質管理のもと激安価格にて販売しています。使用済みのパソコンやスマホなどの買取やデータ消去も店頭にて行っております。また便利なオンラインショップでも販売しており全国のお客様にご利用いただいております。

PCNET U-Station 検索 <http://used.prins.co.jp/>



※ PCNET博多駅前店は、2016年4月23日に旧店舗の築紫通りを挟んで向かいに移転しました。

株式会社パシフィックネット

〒108-0014 東京都港区芝五丁目20番14号 三田鈴木ビル6F
 TEL.03-5730-1441(代) FAX.03-5730-1444



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

Pacific Net Business Report

第28期 株主通信

(2015年6月1日～2016年5月31日)



株式会社パシフィックネット

<http://www.prins.co.jp/>

証券コード: 3021



To Our Shareholders 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご隆盛のことと拝察申し上げます。平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第28期(2015年6月1日から2016年5月31日まで)の決算概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和を背景に、国内景気の緩やかな回復の動きがみられる一方で、海外経済の下振れによる影響などのリスクも抱えており、先行きは不透明な状況にあります。

当社グループを取り巻く事業環境は、2014年4月のWindowsXPサポート終了に伴う入れ替え需要の反動減により、国内の2015年度(2015年4月から2016年3月)のビジネス向け新品パソコン出荷台数は、前年同期比でマイナス23.8%*と、2年連続での大幅減となりました。その結果、企業等からの使用済み情報機器の排出台数は、前年比で大幅に減少いたしました。しかしながら、中古スマートフォン・タブレット等の中古モバイル機器の市場は引き続き拡大傾向にあります。

このような環境下、さらなる顧客拡大へ向け営業体制の抜本的な見直し、成長する中古モバイル市場への取り組みを強化いたしました。あわせて、中期経営計画「VISION 2018」の目的である「持続的成長・高い収益性を可能とする新たな成長モデル」を実現するため、各種プロ

モーション活動、IT化投資、通信事業(MVNO)参入への投資、新たなITメディア「ジョーシス」の立ち上げ等の積極的な先行投資を実施いたしました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高4,563,269千円(前年同期比1.6%増)、営業利益118,615千円(前年同期比47.9%減)、経常利益136,863千円(前年同期比44.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益90,858千円(前年同期比50.2%減)となりました。

次期(平成29年5月期)の連結業績見通しにつきましては、売上高5,050百万円(前年同期比10.7%増)、営業利益312百万円(前年同期比163.0%増)、経常利益320百万円(前年同期比133.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益214百万円(前年同期比135.5%増)を見込んでおります。

今後とも、株主の皆様のご期待にお応えできるよう精励いたしますので、引き続き倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役 上田 満弘

※出典:MM総研「2015年度国内パソコン出荷概要」

当期のポイント

Point1 Windows XPサポート終了の反動減が想定以上に長期化

Point2 レンタル事業は増収・大幅増益

✓ レンタル売上高は前年同期比21.6%増、営業利益は前年同期比193.6%増

Point3 引取回収・販売事業は減収・減益

- ✓ 2015年度ビジネス系の新規パソコン出荷台数は、前年同期比23.8%減、2年連続で大幅減少*
- ✓ 中古モバイルは取り扱い台数がさらに拡大
- ✓ セグメント全体では、引取回収・販売事業は減収・減益

Point4 中期経営計画「VISION2018」を策定。サービス分野を拡大

※出典:MM総研「2015年度国内パソコン出荷概要」

中期経営計画「VISION 2018」

持続的成長・高い収益性を可能とする、新たな事業モデルへのステップ
～ストック中心の収益構造への変革～

【当社の事業環境】

新規導入IT機器	タブレット型端末は成長市場、新品パソコンを含めレンタルでの導入やキittingとセットでのニーズの高まり
セキュリティ	旧態依然の廃棄処分が未だ大多数。情報漏洩リスクへの関心の高まりやマイナンバー制度もあり、データ消去市場の開拓余地は大きい
中古モバイル	特に中古スマホは成長市場にある
通信等	MVNO*による格安スマホ市場は急激に拡大IoT**需要でさらに拡大が見込める
注目テーマ	セキュリティ IoT ドローン ロボット マイナンバー 東京オリンピック

成長市場へ5つのサービスを提供

【成長への4つの基本戦略】

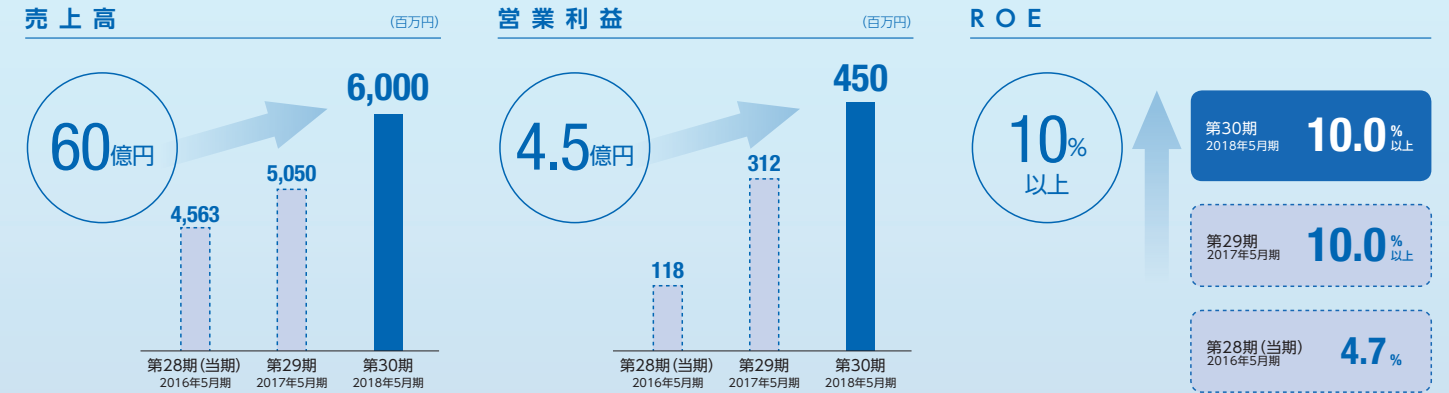
- 顧客拡大**
競争優位の確立、営業・マーケティング強化による顧客拡大
- 変化への適応**
変化に対応した新たなレンタル市場、リユース市場、周辺事業の創出と展開 (IoT、AED、ドローン、ロボットなど)
- 相乗効果拡大**
レンタル事業を拡大し、リユース事業との相乗効果をさらに発揮
- 戦略実行力**
戦略実行力の強化、自律型組織・人財への変革

*MVNO…Mobile Virtual Network Operatorの略。仮想移動体通信事業者。無線通信回線設備を開発・運用せずに、自社ブランドで携帯電話やPHSなどの移動体通信サービスを行う事業者のこと。
**IoT…Internet of Thingsの略。様々な「モノ」がインターネット・クラウドに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組みのこと。
※循環型経済…Circular Economy、消費型経済からの転換を図る考え方のこと。

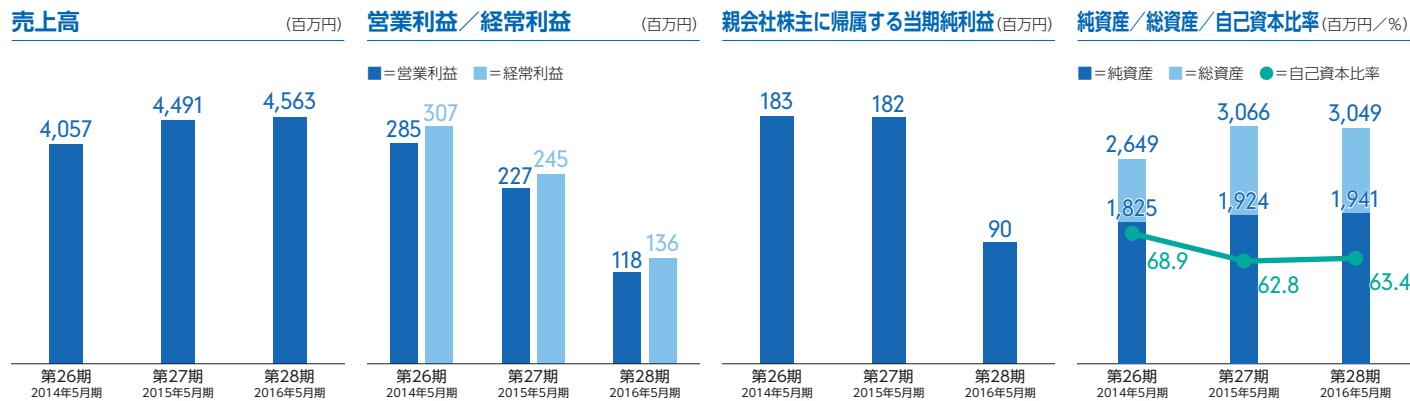
IT資産のライフサイクルを支える5つのサービス分野



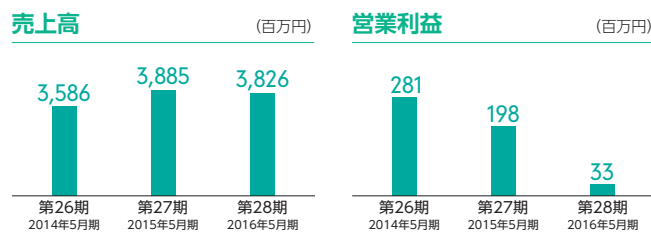
【2018年5月期経営目標】



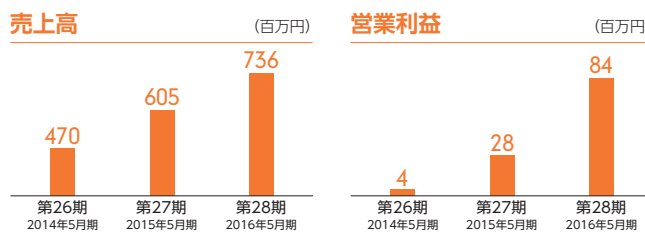
Financial Highlights 財務ハイライト



引取回収・販売事業 減収・減益：XP特需の反動減の影響続く。モバイルは大幅拡大。



レンタル事業 増収・大幅増益：営業強化等で受注拡大。



News & Topics ニュース&トピックス

レンタル事業の取り組み

レンタル事業は、中期経営計画の中で重要施策と位置付けており、営業の強化、サービス品質向上、周辺サービスの拡大を着実に進めております。これら諸施策により、顧客数が拡大し、当期の収益に大きく寄与し、サービス受注も増加いたしました。また既存の商材だけでなく、ドローンやデジタルサイネージの取扱いも開始しました。

さらに東京オリンピック控え、インフラ整備に関連して企業での設置ニーズがますます高まっているAED (自動体外式除細動器)のレンタルも2016年8月より新たに始めています。



総合通信サービスBizmoがサービスを拡充

2015年11月よりサービスを開始した、当社と光通信との合弁会社、株式会社2Bの法人向け総合通信サービス[Bizmo]がさらにサービスを拡充。タブレットやWiFiルータ、ノートPCなどの端末とSIMの組み合わせで法人向けレンタルを展開中ですが、2016年3月より取扱いの端末のラインナップを大幅に拡げ、選びやすいおすすめ機種はもとより、お客様ご指定の端末との組み合わせも可能となりました。SIMの容量も複数の中から選択できることで、パシフィックネットのキittingサービスやサポートも併せ、より一層お客様のご要望にお応えするサービスとなりました。

情報システム部門向け情報Webメディア「ジョーシス」が好評

2015年9月末にOPENした、企業の情報システム部門(以下情シス)やIT機器担当者など当事業の窓口であるご担当者をターゲットとしたWebメディア「ジョーシス」がご好評をいただいております。「情シスをもっと楽しく!もっと幸せに!」をコンセプトに、一般的なIT系のメディアとは一線を画した、情シス担当者の生活全般を支援するビジネスとライフスタイルの充実に役立つ情報をメインに提供しています。「情シス女子」「情シス三段用語辞典」などのオリジナル記事が特に人気を集めています。

